

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会理論と社会システム		必修 (社.精) 選択 (理.作.心)	2	1.2 (理.福) 1.2.3.4 (作)	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
松崎 昇	B303	noboru.matsuzaki		月曜日 12:30~14:40	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉社会とは何だろうか、現在の日本社会はどのような状況にあるのだろうか、TV・Net・新聞等で取りざたされている社会的諸問題はどうか考えたらいいのだろうか。</p> <p>本科目は、学生が社会学を体系的に学ぶことを通じ、現代日本社会の諸問題に積極的に興味を持ち、自分なりにあれこれ調査考察議論できるようになることを目的とする。</p> <p>〈概要〉社会学の体系的理解を踏まえたうえで、現代が抱えるさまざまな社会的諸問題を把握考察していく。</p> <p>終盤には、受講生同士で議論する機会も設けてある。</p> <p>Teams を用いた同時双方向型の遠隔授業となる。</p>				
学習上の助言	<p>1. 国内外の社会的諸問題に広く興味を持ち、積極的に調べ考えてみる。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point を事前に up する予定なので、印刷可能な人は Print out するなりし、あらかじめ目を通しておくことを勧める。</p>				
教科書	社会学と社会システム／編：日本ソーシャルワーク教育学校連盟／中央法規出版／2021 年				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会学の基本的事項を説明することができる。			HSU(2)(3)(5)、WP(3)	
②	現代日本・現代世界で生起しているさまざまな社会的諸問題について、興味を持ち調査考察できる。			HSU(5)(6)、WP(3)	
③	同上等の論点に関し、受講生同士で議論できる。			HSU(1)(4)、WP(3)(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目 Guidance ののち、社会学史 1 (社会契約論～Durkheim) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
2	社会学史 2 (Tönnies～Merton) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
3	社会学史 3 (現象学的社会学～構築主義) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
4	社会学史 4 (Luhmann～Beck) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
5	社会学の方法 (個人主義・集合主義) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
6	社会学の体系 1 (行為／自己と他者・生活) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
7	社会学の体系 2 (家族・地域・組織) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
8	社会学の体系 3 (社会システム／格差) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
9	社会学の体系 4 (経済／人口・環境) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
10	社会学の体系 5 (国家／公共性・復興) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
11	社会学の体系 6 (意識／差別と偏見・健康) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
12	社会学の体系 7 (世界／グローバリゼーション) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
13	社会学の体系 8 (変動／現在的諸問題) を学ぶ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
14	受講生による Discussion、質疑応答。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系/旧カリキュラム】

15	まとめ（社会福祉とのかかわり）。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4			
試							
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	10	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	20	30
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		受講生同士による Discussion を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発言の質量等に着目する。				Comment する。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
1. 福祉心理学科の必修科目であり、社会福祉士・精神保健福祉士の受験要件に必要な科目である。 2. Teams を用いた同時双方向型遠隔授業となる。 Power Point 視聴・同時双方向行為等があるので、通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 3. 受講生による議論は、進行状況等により、変更することがある。 4. 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってはシラバスの変更もありうる。その場合には告知する。							